

第29回

『国連職員と話そう！』

～上智で見つける、国際協力への道

国際協力人材育成センター「国連職員と話そう！」シリーズ第29回の今回は、本学の卒業生であり現役の国連職員の梅津 伸 氏が自身のキャリアの軌跡やASEANでの活動について語ります。オンラインでの開催になりますが、参加者の皆さんからのさまざまな質問にもお答えします。将来、国際機関や国際協力の分野で活躍する道すじを探してみませんか。

梅津 伸 (うめず しん)

ベトナム国連常駐調整官事務所長

1991年上智大学法学部国際法学科卒業、ジョンズ・ホプキンス大学 (SAIS) 修了後に国連競争試験 (政務部門) に合格し、1995年政務局 (DPA) 入局より国連職員としてのキャリアをスタート。安全保障理事会の旧ユーゴスラヴィア制裁委員会、イラク制裁委員会、シエラレオネ制裁委員会、アンゴラ制裁委員会などを担当。

1998年には国連事務総長代表カンボジア事務所でモニター (監視者) として勤務、1999年から2000年にかけては国連のボスニア・ヘルツェゴビナ派遣団 (UNMIBH) に従事。2000年にニューヨーク国連本部に戻り、政務局アジア・太平洋部、欧米部、PKO局アジア・中東部などを経て、2018年11月より国連事務総長ミャンマー担当特使現地オフィス所長に就任。2019年7月よりニューヨーク本部政務・平和構築局 (DPPA) の非植民地化ユニット・チーフを務め、2020年1月より現職。

梅津氏の詳しい経歴 (英文のみ) については、国際協力人材育成センターのホームページに掲載予定です。



司会：植木 安弘

上智大学大学院グローバル・スタディーズ研究科教授
国際協力人材育成センター所長

主催：上智大学

問合せ：国際協力人材育成センター hrc-ic-co@sophia.ac.jp

日時：6月14日 (月) 18:00～19:30

言語：日本語 / 対象：高校生、大学生、一般
Zoomによるオンラインイベント

無料・要事前申込

<https://eipro.jp/sophia/events/view/UN20210614>